

法政大学大学院 人間社会研究科
2023年度 入学試験要項
修士課程
福祉社会専攻 <一般選抜>

※法政大学大学院HP (<https://www.hosei.ac.jp/gs/nyushi/faq/index.html>)に、大学院入試に関するQ & Aを掲載しています。

※新型コロナウイルス感染症の影響により内容に変更が生じる場合があります。変更が生じた場合、法政大学大学院HP(<https://www.hosei.ac.jp/gs/jukensei>) に詳細を掲載します。

一般選抜は
秋季(9月)入試と春季(2月)入試を
実施します。

福祉社会専攻および人間福祉専攻への出願を検討されている皆様へ

福祉社会専攻および人間福祉専攻では定期的に行なわれる進学相談会のほか、「個別相談」や「研究室訪問」を随時受け付けています。ご自身の指導教員や研究計画の検討に際して、こうした機会を是非積極的に活用するようにしてください。

個別相談や研究室訪問を希望する方は、以下の必要事項を記入（メール添付でも可）して多摩事務部大学院課人間社会研究科担当（現代福祉学部事務課）[fukushi@hosei.ac.jp]までメールにてお申込みください。

- ①希望専攻名（入学試験選抜区分 [一般・社会人自己推薦・外国人留学生・研修生のいずれか]）
- ②自己紹介（大学、学部、職業 [業務内容] 等も記載すること）
- ③研究テーマ（現在検討中の内容で可）
- ④相談希望教員名（指導希望教員名）

*ご自身の研究テーマを踏まえ、研究科ホームページおよび研究科パンフレットを確認し、必ず相談希望の教員を記入して下さい。

[注意事項]

- ・出願後および出願期間中の個別相談には応じられませんのでご注意ください。
- ・担当教員に確認したうえでご紹介するまで若干のお時間を頂きます。出願期間開始日の直前にお申し込み頂いても出願締切日までに対応出来ない場合がありますので予めご了承ください。また、余裕をもって申込むようにしてください。

修士課程

福祉社会専攻 <一般選抜>入試

1. 募集する課程、専攻および入学定員概要

課程	専攻名	入学定員
修士課程	福祉社会専攻	15名

入学定員は秋季及び春季の全入学試験方式をあわせたものです。

2. 出願資格

次の(1)～(9)のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者、又は2023年3月末までに大学卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、又は2023年3月末までに同機構より学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は2023年3月末までに修了見込みの者(※1)
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は2023年3月末までに修了見込みの者(※1)
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者(※2)
- (6) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者(※3)
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(※4)
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

※1 学士学位を取得(2023年3月末までに取得見込みを含む)していない場合は該当しません。

※2 文部科学大臣指定外国大学日本校を指します。対象となる学校は、文部科学省ホームページを参照してください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/001.htm

※3 ・学士の学位に相当する学位を授与されていない場合は該当しません。たとえば、中国の3年制大学(専科大学・職業学院等)のみ卒業し、学士学位を取得していない場合は該当しません。

・「その他の外国の学校」とは、その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。

・「修業年限が3年以上である課程を修了する」方法には、当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること、及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

※4 対象となる専修学校の専門課程については、文部科学省ホームページを参照してください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/002.htm

<注意1> (2)～(9)の資格で受験を希望する者は、出願期間締切日の2ヶ月前までに多摩事務部大学院課人間社会研究科担当にて出願資格を確認すること。(9)の個別の入学資格審査の方法は別紙を参照のこと。

<注意 2>ダブルディグリープログラムにより学位を取得した（見込みを含む）場合、「複数の大学あるいは複数の学部（専攻）を卒業している場合（見込みを含む）」に該当しますので、卒業したすべての大学・学部（専攻）を出願書類の学歴欄に記入し、それぞれの「成績証明書」「卒業証明書」「学士学位取得証明書（外国の大学卒業の場合のみ）」を提出してください。

<注意 3>人間社会研究科では「飛び入学試験」を実施しておりません。

3. 選抜方法

専攻	入学試験方式	選抜方法
福祉社会専攻	一般選抜	筆記試験（専門科目・英語） ※ 筆記試験の「英語」は英和・英英辞典持込参照可（電子辞書は持込不可） および口述試験（面接）

筆記試験の出題範囲および形式

専攻	試験科目	出題範囲および形式
福祉社会専攻 (出題範囲および形式は、一般選抜、社会人自己推薦選抜、外国人留学生選抜とも共通です。)	専門科目	●下記の領域に関する知識を問う問題から自由に3問を選択し解答。 ・ソーシャルワーク系（社会福祉の理論・援助方法など） ・システム・マネジメント系（保健医療福祉システム、福祉施設経営、非営利組織経営など） ・コミュニティ・デザイン系（都市・住宅政策、地域空間、地域文化、地域経営、地方自治など） ●上記領域に関する論述問題から1問を選択し解答。
	英語	●文献の読解

4. 出願手続

(1) 入学検定料 35,000円

- ①入学検定料は出願期間内に納入してください。出願期間を過ぎての納入は一切認められません。
- ②検定料は銀行振込、コンビニ収納、クレジット支払いのいずれかにより納入してください。事務課窓口での支払はできません。
- ③銀行で振り込む場合、本学指定の検定料払込票を使用してください。
※取扱銀行出納印1、2全てに押印してもらってください。
なお、海外から送金する場合は、振込銀行手数料（海外銀行分）と支払銀行手数料（日本国内銀行分）の両方が依頼人（出願者）負担となるよう現地の銀行に申し出たうえで、必ず日本円で振り込んでください。詳細は、多摩事務部大学院課人間社会研究科担当へ問合せください。
- ④コンビニ収納およびクレジット支払いを利用する場合は、検定料払込票は使用せず、収納証明書を取得して様式1の入学志願票に貼付してください。詳細は、「コンビニ・クレジット入学検定料支払方法」を参照し、納入してください。

(2) 提出書類

※提出書類は黒ボールペン（消せるボールペンは不可）で楷書にて記入してください。

	提出書類	様式
a	受験票送付用住所・受験票 ※受験票送付用住所（様式1-1）に記入された住所にお届けしますので、住所をご記入の際は建物名や部屋番号など記入漏れのないようご注意ください。	様式1
b	卒業（見込）証明書 1通（※注意①・②） 最終出身校の卒業（見込）証明書	
c	成績証明書 1通（※注意①・②） 最終出身校の成績証明書 ※編入学・学士入学している者は、編・学士入学前の在籍校の成績証明書・在籍期間証明書も併せて各1通提出すること。	
d	学士学位取得（見込）証明書 1通（外国の大学卒業（見込）の者のみ）（※注意①・②）	

e	入学試験面接カード 所定の用紙に必要事項をもれなく記入すること。 ※「指導を希望する専任教員名」は記入必須ですが、あくまで希望として記入するもので、合格、入学後の指導教員を決定するものではありません。正式な指導教員は入学後にあらためて希望を提出し、研究科教授会にて検討のうえ最終的に決定となります。	様式 2
f	研究計画書 2,000 字程度。ワープロ使用により別紙に印刷する場合は、様式 3-1 を表紙として提出すること。(同様の書式を作成し提出することも可能)	様式 3-1
g	履歴書 必要事項をもれなく記入すること。必ず捺印のこと。	様式 4
h	論文(卒業論文を含む)の概要またはこれまでの研究・社会的活動の概要 2,000 字～4,000 字程度。ワープロ使用により別紙に印刷する場合は、様式 5-1 を表紙として提出すること。(同様の書式を作成し提出することも可能)	様式 5-1
i	住民票 または 在留資格・期間を証明するもの 1通 (外国人のみ) ・提出する「住民票」は在留資格および在留期間が明記されているもの(省略されていないもの)であり、さらに、 <u>マイナンバー(個人番号)</u> が記入されていないものをご提出ください。 ・提出すべき住民票やパスポート等の書類は以下のとおりです。 ①日本に住所登録がある場合 →「住民票」を提出してください(在留カードのコピーでは受理できません)。住民票に記載されている「在留期間満了の日」が入学試験日よりも後である必要があります。 ②日本に住所登録があるが、出願時に在留期間更新中の場合 →「いま現在提出できる最新の住民票」と「在留カードの表・裏面のコピー(在留資格・期間更新中であることが分かるもの)」を両方提出してください。 ③日本に住所登録があるが、一時的に日本国外にあり、出願期間内に住民票が取得できない場合 →「パスポートの写し(写真および旅券番号がわかるページ)」と「在留カードの表・裏面のコピー」の両方を提出してください。 ④日本に住所登録がない場合(短期滞在ビザでの入国等) →「パスポートの写し(写真および旅券番号がわかるページ)」を提出してください。	

※注意 ①外国の大学(大学院)を卒業(修了)した方は、卒業(修了)証明書、成績証明書、学位取得証明書などは、英語または日本語の証明書を提出してください。提出が困難な場合には、大使館などの公的な機関にて、自分で用意した英訳または日本語訳の証明書の翻訳が正しいことの公証書を発行してもらい、証明書原本と翻訳文と公証書を合わせて提出してください。

※証明書が日本語または英語で書かれている場合

証明書が原本であることをよく確認し、そのままご提出ください。

※証明書が日本語または英語ではない場合

証明書原本(日本語、英語以外)1通 + 翻訳(日本語もしくは英語のものを自分で用意)1通 + 大使館・公証処での公証 を全て揃えて提出してください。

②婚姻等により証明書(b、c、d)と異なる姓名になった者は、必ずこれを証明する書類(戸籍抄本)を提出してください。

③一旦提出した書類等は試験結果の可否に関わらず返還しません。

④中華人民共和国の教育機関出身の方は、別紙の注意事項を必ずお読みください。

(3) 出願方法

①出願期間内に、検定料を銀行振込、コンビニ収納、クレジット支払いのいずれかにより納入すること。

②提出書類を市販の封筒により、出願期間内に多摩事務部大学院課人間社会研究科担当まで郵送(書留速達)すること。

③出願は郵送のみとする。

(4) 研修生との併願について

福祉社会専攻<研修生入試>と同日に実施する福祉社会専攻の春季入試(2023年2月18日実施の<一般選抜><社会人自己推薦選抜><外国人留学生選抜>)のみ、研修生との併願を認めます。

出願時に入学志願票、入学試験面接カードの所定欄に併願についての選択をしてください。出願後の変更は一切認めません。なお、検定料は併願の場合でも35,000円です。併願を希望した受験生のみ、修士課程不合格の場合、研修生受験者として合否判定を行います。

なお、研修生として在留資格の更新については別紙<注意>を参照ください。

(5) 出願先

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

法政大学 多摩事務部大学院課人間社会研究科担当

5. 入試日程

(1) 秋季入試

① 出願期間

2022年8月26日(金)～9月2日(金) (9月2日消印有効)

※受験票は試験日の1週間前頃に発送します。

② 試験日程

	10:00～11:30	11:30～12:30	12:30～14:00	14:00～14:30	14:30～17:00
9月25日(日)	専門科目 (参照不可)	昼休	英語 ※英和・英英辞典 持込参照可(電子 辞書は持込不可)	休憩	口述試験

※注意 a. 受験者は試験開始20分前までに必ず試験教室に入室してください。

b. 試験時間中の途中退席はできません。

③ 合格発表

2022年10月7日(金) 10:00

法政大学大学院ホームページ (<http://www.gouhi.com/hosei/gs/>)

(合格者には、合格通知書および入学手続書類を速達で郵送します。)

④ 入学手続期間

2022年11月25日(金)～12月2日(金)

(手続き方法の詳細については合格発表時に通知しますが、所定の学費等を納め、指定された書類を簡易書留で郵送してください。)

(2) 春季入試

① 出願期間

2023年1月13日(金)～1月20日(金) (1月20日消印有効)

※受験票は試験日の1週間前頃に発送します。

② 試験日程

	10:00～11:30	11:30～12:30	12:30～14:00	14:00～14:30	14:30～17:00
2月18日(土)	専門科目 (参照不可)	昼休	英語 ※英和・英英辞典 持込参照可(電子 辞書は持込不可)	休憩	口述試験

※注意 a. 受験者は試験開始20分前までに必ず試験教室に入室してください。

b. 試験時間中の途中退席はできません。

③ 合格発表

2023年2月24日(金) 10:00

法政大学大学院ホームページ (<http://www.gouhi.com/hosei/gs/>)

(合格者には、合格通知書および入学手続書類を郵送します。)

④入学手続期間

2023年2月25日（土）～3月2日（木）

（手続き方法の詳細については合格発表時に通知しますが、所定の学費等を納め、指定された書類を簡易書留で郵送してください。）

6. 試験会場

法政大学 多摩キャンパス 現代福祉学部棟（17号館）（試験教室は受験票郵送時にお知らせします。）

7. 入学手続

(1) 入学手続に必要な書類

- a. 学費納入済票
- b. 住民票（発行後3ヶ月以内のもの） 1通
- c. 写真（3ヶ月以内に撮影したもの 3cm×3cm） 2枚
- d. 卒業証明書（卒業見込みで受験した者のみ） 1通
- e. 成績証明書（卒業見込みで受験した者のみ） 1通

※注意 外国人の方も2012年7月9日より導入された新しい在留管理制度に基づき、市区役所・町村役場にて「住民票」の発行を受けて提出してください。また、その際、必ず「在留資格・期間」が明記されているものを提出してください。

(2) 学費

入 学 金	200,000 円 (但し本学の学部卒業者は無料)
授 業 料	570,000 円
教育充実費	80,000 円
合 計	850,000 円 (但し本学の学部卒業者は 650,000 円)

※注意 ただし、入学手続時の納入金は入学金全額と授業料・教育充実費のそれぞれ半額の合計額（525,000円）で、残りの授業料・教育充実費のそれぞれ半額の合計額（325,000円）は秋期に納入することになります。

上記の他、入学手続時に諸会費約3,000円が必要になります。

（2年次は上記のうち入学金以外の学費・諸会費が必要になります。）

(3) 長期履修制度（福祉社会専攻 修士課程のみ）について

長期履修制度は、仕事などと両立しながら学業にじっくりと取り組みたい方に配慮した制度です。**福祉社会専攻（修士課程）に限り**、長期履修制度の選択が可能です。

通常の修業年限（標準修業年限）は場合2年間です。この制度を適用した場合、通常の修業年限に必要な授業料を「3年」または「4年」で分納することが可能となり、1年度あたりの学費負担を軽減させることができます。

■注意事項

- ※ 長期履修制度を適用するかどうかは**入学手続時**に申請してください。入学手続期間後の変更はできません。
- ※ 一度選択した年数をさらに延長することはできません。ただし入学後（在学中に）、当初の計画を早めて修了する（長期履修制度適用期間を短縮して修了する）ことは可能です。その場合は所定の手続を経て研究科の許可を得る必要があります。また、短縮が決定した場合は長期履修制度の学費が適用されなくなりますので、通常学費との差額（不足分）を納入いただく必要があります。
- ※ 長期履修制度適用者の在学年限は、通常の在学年限と同じく修士課程4年です。在学年限とは科目の履修や修士を提出することができる年限です。これとは別に通算3年の休学が可能となっています。

- ※ 長期履修制度適用者が履修するカリキュラムは通常の課程（修士2年）と同一です。授業の履修にあたっては、指導教員とよく相談したうえで履修登録をしてください。
- ※ 退学・除籍となった場合、復学・復籍後の長期履修制度の継続はできません。長期履修制度適用中に、学内外の奨学金や助成金に応募できるかどうかは、当該の奨学金や助成金ごとに応募条件が異なりますので、個々の募集要項で応募条件を確認してください。

8. 注意事項

- (1) 一旦受領した検定料は返還いたしません。
- (2) 提出書類に不備があると、受験できなくなることがありますので、十分注意してください。
- (3) 受験者が遅刻した場合は、試験開始20分以後の受験はいかなる理由があっても認めません。
- (4) 受験会場では携帯電話等の時計としての使用は一切認めません。入室の際には、必ず電源を切ってください。
- (5) 受験当日は、付近の食堂が閉まっていることがあります。なるべく各自で昼食を用意してください。
- (6) 電話での合否の問い合わせには一切応じません。
- (7) 本学への入学手続を完了した後に（入学時納入金を全額納入した後に）、やむを得ない理由により入学の辞退を希望し、2023年3月16日（木）までに大学が定める手続きにより届け出をした者には、入学金を除く学費その他の納入金を返還します。入学手続等詳細は合格者に交付される「入学手続書類」を参照してください。

法政大学大学院 人間社会研究科 2023年度 入学試験要項

修士課程

福祉社会専攻 <社会人自己推薦選抜>

※法政大学大学院HP (<https://www.hosei.ac.jp/gs/nyushi/faq/index.html>)に、大学院入試に関するQ & Aを掲載しています。

※新型コロナウイルス感染症の影響により内容に変更が生じる場合があります。変更が生じた場合、法政大学大学院HP(<https://www.hosei.ac.jp/gs/jukensei>) に詳細を掲載します。

社会人自己推薦選抜は
秋季(9月)入試と春季(2月)入試を
実施します。

福祉社会専攻および人間福祉専攻への出願を検討されている皆様へ

福祉社会専攻および人間福祉専攻では定期的に関催する進学相談会のほかに、「個別相談」や「研究室訪問」を随時受け付けています。ご自身の指導教員や研究計画の検討に際して、こうした機会を是非積極的に活用するようにしてください。

個別相談や研究室訪問を希望する方は、以下の必要事項を記入（メール添付でも可）して多摩事務部大学院課人間社会研究科担当（現代福祉学部事務課）[fukushi@hosei.ac.jp] までメールにてお申込みください。

- ①希望専攻名（入学試験選抜区分〔一般・社会人自己推薦・外国人留学生・研修生のいずれか〕）
- ②自己紹介（大学、学部、職業〔業務内容〕等も記載すること）
- ③研究テーマ（現在検討中の内容で可）
- ④相談希望教員名（指導希望教員名）

*ご自身の研究テーマを踏まえ、研究科ホームページおよび研究科パンフレットを確認し、必ず相談希望の教員を記入して下さい。

[注意事項]

- ・出願後および出願期間中の個別相談には応じられませんのでご注意ください。
- ・担当教員に確認したうえでご紹介するまで若干のお時間を頂きます。出願期間開始日の直前にお申し込み頂いても出願締切日までに対応出来ない場合がありますので予めご了承ください。また、余裕をもって申込むようにしてください。
- ・サバティカル（研究休暇）制度のため年度によっては指導を担当できない教員がいる場合がありますので予めご了承ください。

修士課程

福祉社会専攻 <社会人自己推薦選抜>入試

1. 募集する課程、専攻および入学定員概要

課程	専攻名	入学定員
修士課程	福祉社会専攻	15名

入学定員は秋季及び春季の全入学試験方式をあわせたものです。

2. 出願資格

入学時（2023年4月1日現在）25歳以上の者で、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者

- (1) 日本もしくは外国において大学を卒業し、学士の学位を有する者、又は2023年3月末までに大学卒業見込み（学士の学位を授与される見込み）の者
- (2) 文部科学大臣の指定した者
- (3) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

<注意1> (2)～(3)の資格で受験を希望する者は、出願期間締切日の2ヶ月前までに多摩事務部大学院課人間社会研究科担当にて出願資格を確認すること。(3)の個別の入学資格審査の方法は別紙を参照のこと。

3. 選抜方法

専攻	入学試験方法	選抜方法
福祉社会専攻	社会人自己推薦選抜	筆記試験（専門科目）および口述試験（面接）

※選抜は、筆記試験（専門科目）と口述試験（面接）の成績および提出書類の審査から総合的に行う。

筆記試験の出題範囲および形式

専攻	試験科目	出題範囲および形式
福祉社会専攻 (出題範囲および形式は、一般選抜、社会人自己推薦選抜、外国人留学生選抜ともに共通です。)	専門科目	<ul style="list-style-type: none">● 下記の領域に関する知識を問う問題から自由に3問を選択し解答。<ul style="list-style-type: none">・ ソーシャルワーク系（社会福祉の理論・援助方法など）・ システム・マネジメント系（保健医療福祉システム、福祉施設経営、非営利組織経営など）・ コミュニティ・デザイン系（都市・住宅政策、地域空間、地域文化、地域経営、地方自治など）● 上記領域に関する論述問題から1問を選択し解答。

4. 出願手続

(1) 入学検定料 35,000円

- ① 入学検定料は出願期間内に納入してください。出願期間を過ぎての納入は一切認められません。
- ② 検定料は銀行振込、コンビニ収納、クレジット支払いのいずれかにより納入してください。事務課窓口での支払はできません。
- ③ 銀行で振り込む場合、本学指定の検定料払込票を使用してください。

※取扱銀行出納印1、2全てに押印してもらってください。

なお、海外から送金する場合は、振込銀行手数料（海外銀行分）と支払銀行手数料（日本国内銀行分）の両方が依頼人（出願者）負担となるよう現地の銀行に申し出たうえで、必ず日本円で振り込んでください。詳細は、多摩事務部大学院課人間社会研究科担当へ問合せください。

- ④コンビニ収納およびクレジット支払いを利用する場合は、検定料払込票は使用せず、収納証明書を取得して様式1の入学志願票に貼付してください。詳細は、「コンビニ・クレジット入学検定料支払方法」を参照し、納入してください。

(2) 提出書類

※提出書類は黒ボールペン（消せるボールペンは不可）で楷書にて記入してください。

	提出書類	様式
a	受験票送付用住所・受験票 ※受験票送付用住所（様式1-1）に記入された住所にお届けしますので、住所をご記入の際は建物名や部屋番号など記入漏れのないようご注意ください。	様式1
b	卒業（見込）証明書 1通（※注意①・②） 最終出身校の卒業（見込）証明書	
c	成績証明書 1通（※注意①・②） 最終出身校の成績証明書 ※編入学・学士入学している者は、編・学士入学前の在籍校の成績証明書・在籍期間証明書も併せて各1通提出すること。	
d	学士学位取得（見込）証明書 1通（外国の大学卒業（見込）の者のみ）（※注意①・②）	
e	入学試験面接カード 所定の用紙に必要事項をもれなく記入すること。 ※「指導を希望する専任教員名」は記入必須ですが、あくまで希望として記入するもので、合格、入学後の指導教員を決定するものではありません。正式な指導教員は入学後にあらためて希望を提出し、研究科教授会にて検討のうえ最終的に決定となります。	様式2
f	研究計画書 2,000字程度。ワープロ使用により別紙に印刷する場合は様式3-1を表紙として提出すること。（同様の書式を作成し提出することも可能）	様式3-1
g	履歴書 必要事項をもれなく記入すること。必ず捺印のこと。	様式4
h	自己推薦書 2,000字～4,000字程度。これまでの研究・仕事、または社会的活動・専門としてきた分野などの概要を含めること。ワープロ使用により別紙に印刷する場合は様式5-2を表紙として提出すること。（同様の書式を作成し提出することも可能）	様式5-2
i	住民票 または 在留資格・期間を証明するもの 1通（外国人のみ） ・提出する「住民票」は在留資格および在留期間が明記されているもの（省略されていないもの）であり、さらに、 <u>マイナンバー（個人番号）</u> が記入されていないものをご提出ください。 ・提出すべき住民票やパスポート等の書類は以下のとおりです。 ①日本に住所登録がある場合 →「住民票」を提出してください（ <u>在留カードのコピーでは受理できません</u> ）。住民票に記載されている「在留期間満了の日」が入学試験日より後である必要があります。 ②日本に住所登録があるが、出願時に在留期間更新中の場合 →「いま現在提出できる最新の住民票」と「在留カードの表・裏面のコピー（在留資格・期間更新中であることが分かるもの）」を両方提出してください。 ③日本に住所登録があるが、一時的に日本国外にあり、出願期間内に住民票が取得できない場合 →「パスポートの写し（写真および旅券番号がわかるページ）」と「在留カードの表・裏面のコピー」の両方を提出してください。 ④日本に住所登録がない場合（短期滞在ビザでの入国等） →「パスポートの写し（写真および旅券番号がわかるページ）」を提出してください。	

※注意 ①外国の大学（大学院）を卒業（修了）した方は、卒業（修了）証明書、成績証明書、学位取得証明書などは、英語または日本語の証明書を提出してください。提出が困難な場合には、大使館などの公的な機関にて、自分で用意した英訳または日本語訳の証明書の翻訳が正しいことの公証書を発行してもらい、証明書原本と翻訳文と公証書を合わせて提出してください。

※証明書が日本語または英語で書かれている場合
証明書が原本であることをよく確認し、そのままご提出ください。

※証明書が日本語または英語ではない場合

証明書原本(日本語、英語以外)1通 + 翻訳(日本語もしくは英語のものを自分で用意)1通
+ 大使館・公証処での公証 を全て揃えて提出してください。

- ②婚姻等により証明書 (b、c、d) と異なる姓名になった者は、必ずこれを証明する書類 (戸籍抄本) を提出してください。
- ③一旦提出した書類等は試験結果の可否に関わらず返還しません。
- ④中華人民共和国の教育機関出身の方は、別紙の注意事項を必ずお読みください。

(3) 出願方法

- ①出願期間内に、検定料を銀行振込、コンビニ収納、クレジット支払いのいずれかにより納入すること。
- ②提出書類を市販の封筒により、出願期間内に多摩事務部大学院課人間社会研究科担当まで郵送 (書留速達) すること。
- ③出願は郵送のみとする。

(4) 研修生との併願について

福祉社会専攻<研修生入試>と同日に実施する福祉社会専攻の春季入試 (2023年2月18日実施の<一般選抜><社会人自己推薦選抜><外国人留学生選抜>) のみ、研修生との併願を認めます。

出願時に入学志願票、入学試験面接カードの所定欄に併願についての選択をしてください。出願後の変更は一切認めません。なお、検定料は併願の場合でも 35,000 円です。併願を希望した受験生のみ、修士課程不合格の場合、研修生受験者として合否判定を行います。

なお、研修生として在留資格の更新については別紙<注意>を参照ください。

(5) 出願先

〒194-0298 東京都町田市相原町4 3 4 2
法政大学 多摩事務部大学院課人間社会研究科担当

5. 入試日程

(1) 秋季入試

①出願期間

2022年8月26日 (金) ~ 9月2日 (金) (9月2日消印有効)

※受験票は試験日の1週間前頃に発送します。

②試験日程

	10:00~11:30	11:30~12:30	12:30~14:30
9月25日 (日)	専門科目 (参照不可)	昼休	口述試験

※注意 a. 受験者は試験開始20分前までに必ず試験教室に入室してください。

b. 試験時間中の途中退席はできません。

③合格発表

2022年10月7日 (金) 10:00

法政大学大学院ホームページ (<http://www.gouhi.com/hosei/gs/>)

(合格者には、合格者通知書および入学手続き書類を郵送します。)

④入学手続き期間

2022年11月25日 (金) ~ 12月2日 (金)

(手続き方法の詳細については合格発表時に通知しますが、所定の学費等を納め、指定された書類を簡易書留で郵送してください。)

(2) 春季入試

① 出願期間

2023年1月13日(金)～1月20日(金) (1月20日消印有効)

※受験票は試験日の1週間前頃に発送します。

② 試験日程

	10:00～11:30	11:30～12:30	12:30～14:30
2月18日(土)	専門科目 (参照不可)	昼休	口述試験

※注意 a. 受験者は試験開始20分前までに必ず試験教室に入室してください。

b. 試験時間中の途中退席はできません。

③ 合格発表

2023年2月24日(金) 10:00

法政大学大学院ホームページ (<http://www.gouhi.com/hosei/gs/>)

(合格者には、合格者通知書および入学手続書類を郵送します。)

④ 入学手続期間

2023年2月25日(土)～3月2日(木)

(手続き方法の詳細については合格発表時に通知しますが、所定の学費等を納め、指定された書類を簡易書留で郵送してください。)

6. 試験会場

法政大学 多摩キャンパス 現代福祉学部棟(17号館)

(試験教室は受験票郵送時にお知らせします。)

7. 入学手続

(1) 入学手続に必要な書類

- a. 学費納入済票
- b. 住民票(発行後3ヶ月以内のもの) 1通
- c. 写真(3ヶ月以内に撮影したもの 3cm×3cm) 2枚
- d. 卒業証明書(卒業見込みで受験した者のみ) 1通
- e. 成績証明書(卒業見込みで受験した者のみ) 1通

※注意 外国人の方も2012年7月9日より導入された新しい在留管理制度に基づき、市区役所・町村役場にて「住民票」の発行を受けて提出してください。また、その際、必ず「在留資格・期間」が明記されているものを提出してください。

(2) 学費

入 学 金	200,000 円 (但し本学の学部卒業者は無料)
授 業 料	570,000 円
教育充実費	80,000 円
合 計	850,000 円 (但し本学の学部卒業者は 650,000 円)

※注意 ただし、入学手続時の納入金は入学金全額と授業料・教育充実費のそれぞれ半額の合計額(525,000円)で、残りの授業料・教育充実費のそれぞれ半額の合計額(325,000円)は秋期に納入することになります。

上記の他、入学手続時に諸会費約3,000円が必要になります。

(2年次は上記のうち入学金以外の学費・諸会費が必要になります。)

(3) 長期履修制度(福祉社会専攻 修士課程のみ)について

長期履修制度は、仕事などと両立しながら学業にじっくりと取り組みたい方に配慮した制度です。福祉社会専攻(修士課程)に限り、長期履修制度の選択が可能です。

通常の修業年限(標準修業年限)は場合2年間です。この制度を適用した場合、通常の修業年限に必要な授業料を「3年」または「4年」で分納することが可能となり、1年度あたりの学費負担を軽減させることができます。

■注意事項

- ※ 長期履修制度を適用するかどうかは**入学手続時**に申請してください。入学手続期間後の変更はできません。
- ※ 一度選択した年数をさらに延長することはできません。ただし入学後（在学中に）、当初の計画を早めて修了する（長期履修制度適用期間を短縮して修了する）ことは可能です。その場合は所定の手続を経て研究科の許可を得る必要があります。また、短縮が決定した場合は長期履修制度の学費が適用されなくなりますので、通常学費との差額（不足分）を納入いただく必要があります。
- ※ 長期履修制度適用者の在学年限は、通常の在学年限と同じく修士課程4年です。在学年限とは科目の履修や修士を提出することができる年限です。これとは別に通算3年の休学が可能となっています。
- ※ 長期履修制度適用者が履修するカリキュラムは通常の課程（修士2年）と同一です。授業の履修にあたっては、指導教員とよく相談したうえで履修登録をしてください。
- ※ 退学・除籍となった場合、復学・復籍後の長期履修制度の継続はできません。長期履修制度適用中に、学内外の奨学金や助成金に応募できるかどうかは、当該の奨学金や助成金ごとに応募条件が異なりますので、個々の募集要項で応募条件を確認してください。

8. 注意事項

- (1) 一旦受領した検定料は返還いたしません。
- (2) 提出書類に不備があると、受験できなくなることがありますので、十分注意してください。
- (3) 受験者が遅刻した場合は、試験開始20分以後の受験はいかなる理由があっても認めません。
- (4) 受験会場では携帯電話等の時計としての使用は一切認めません。入室の際には、必ず電源を切ってください。
- (5) 受験当日は、付近の食堂が閉まっていることがあります。なるべく各自で昼食を用意してください。
- (6) 電話での可否の問い合わせには一切応じません。
- (7) 本学への入学手続を完了した後に（入学時納入金を全額納入した後に）、やむを得ない理由により入学の辞退を希望し、2023年3月16日（木）までに大学が定める手続きにより届け出をした者には、入学金を除く学費その他の納入金を返還します。入学手続等詳細は合格者に交付される「入学手続書類」を参照してください。

法政大学大学院 人間社会研究科 2023年度 入学試験要項

修士課程

福祉社会専攻 <外国人留学生選抜>

※法政大学大学院HP (<https://www.hosei.ac.jp/gs/nyushi/faq/index.html>)に、大学院入試に関するQ & Aを掲載しています。

※新型コロナウイルス感染症の影響により内容に変更が生じる場合があります。変更が生じた場合、法政大学大学院HP(<https://www.hosei.ac.jp/gs/jukensei>) に詳細を掲載します。

外国人留学生選抜は
秋季(9月)入試と春季(2月)入試を
実施します。

福祉社会専攻および人間福祉専攻への出願を検討されている皆様へ

福祉社会専攻および人間福祉専攻では定期的に関催する進学相談会のほかに、「個別相談」や「研究室訪問」を随時受け付けています。ご自身の指導教員や研究計画の検討に際して、こうした機会を是非積極的に活用するようにしてください。

個別相談や研究室訪問を希望する方は、以下の必要事項を記入（メール添付でも可）して多摩事務部大学院課人間社会研究科担当（現代福祉学部事務課）[fukushi@hosei.ac.jp] までメールにてお申込みください。

- ①希望専攻名（入学試験選抜区分 [一般・社会人自己推薦・外国人留学生・研修生のいずれか]）
- ②自己紹介（大学、学部、職業 [業務内容] 等も記載すること）
- ③研究テーマ（現在検討中の内容で可）
- ④相談希望教員名（指導希望教員名）

*ご自身の研究テーマを踏まえ、研究科ホームページおよび研究科パンフレットを確認し、必ず相談希望の教員を記入して下さい。

[注意事項]

- ・出願後および出願期間中の個別相談には応じられませんのでご注意ください。
- ・担当教員に確認したうえでご紹介するまで若干のお時間を頂きます。出願期間開始日の直前にお申し込み頂いても出願締切日までに対応出来ない場合がありますので予めご了承ください。また、余裕をもって申込むようにしてください。
- ・サバティカル（研究休暇）制度のため年度によっては指導を担当できない教員がいる場合がありますので予めご了承ください。

修士課程

福祉社会専攻＜外国人留学生選抜＞入試

1. 募集する課程、専攻および入学定員概要

課程	専攻名	募集人員
修士課程	福祉社会専攻	15名

入学定員は秋季及び春季の全入学試験方式をあわせたものです。

2. 出願資格

日本国以外の国籍を有し、次の(1)～(5)のいずれかに該当する者

- (1) 外国において、学校教育における16年以上の課程を修了し、学士の学位を有する者、又は2023年3月までに修了見込み(学士の学位を授与される見込み)の者
- (2) 外国に居住し、学士の学位を有する者、又は外国に居住し、2023年3月末までに修了見込み(学士の学位を授与される見込み)の者(但し、日本の大学で学士の学位を授与された者あるいは学士の学位を授与される見込みの者を除く)
- (3) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者(※1)
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

※1 ・学士の学位に相当する学位を授与されていない場合は該当しません。たとえば、中国の3年制大学(専科大学・職業学院等)のみ卒業し、学士学位を取得していない場合は該当しません。

・「その他の外国の学校」とは、その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、

・「修業年限が3年以上である課程を修了する」方法には、当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること、及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

<注意1> (2)～(5)の資格で受験を希望する者は、出願期間締切日の2ヶ月前までに多摩事務部大学院課人間社会研究科担当にて出願資格を確認すること。(5)の個別の入学資格審査の方法は別紙を参照のこと。

<注意2> 日本の大学と日本国外の大学のダブルディグリープログラムにより学位を取得した(見込みを含む)場合、「日本の大学で学位を授与された(される)者」とみなしますので、外国人入試は受験できません。

なお、日本でのダブルディグリープログラムの授業がすべて英語で行われていた場合は、出願期間締切日の2ヶ月前までに多摩事務部大学院課人間社会研究科担当にて出願資格を確認してください。

また、ダブルディグリープログラムにより学位を取得した(見込みを含む)場合、「複数の大学あるいは複数の学部(専攻)を卒業している場合(見込みを含む)」に該当しますので、卒業したすべての大学・学部(専攻)を出願書類の学歴欄に記入し、それぞれの「成績証明書」「卒業証明書」「学士学位取得証明書(外国の大学卒業の場合のみ)」を提出してください。

3. 選抜方法

専攻	入学試験方法	選抜方法
福祉社会専攻	外国人留学生 選抜	筆記試験（専門科目）及び 口述試験（日本語による面接）

筆記試験の出題範囲および形式

専攻	試験科目	出題範囲および形式
福祉社会専攻 (出題範囲および形式は、一般選抜、社会人自己推薦選抜、外国人留学生選抜とも共通です。)	専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ●下記の領域に関する知識を問う問題から自由に3問を選択し解答。 <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーク系（社会福祉の理論・援助方法など） ・システム・マネジメント系（保健医療福祉システム、福祉施設経営、非営利組織経営など） ・コミュニティ・デザイン系（都市・住宅政策、地域空間、地域文化、地域経営、地方自治など） ●上記領域に関する論述問題から1問を選択し解答。

4. 出願手続

(1) 入学検定料 35,000円

- ①入学検定料は出願期間内に納入してください。出願期間を過ぎての納入は一切認められません。
- ②検定料は銀行振込、コンビニ収納、クレジット支払いのいずれかにより納入してください。事務課窓口での支払はできません。
- ③銀行で振り込む場合、本学指定の検定料払込票を使用してください。
※取扱銀行出納印1、2全てに押印してもらってください。
なお、海外から送金する場合は、振込銀行手数料（海外銀行分）と支払銀行手数料（日本国内銀行分）の両方が依頼人（出願者）負担となるよう現地の銀行に申し出たうえで、必ず日本円で振り込んでください。詳細は、多摩事務部大学院課人間社会研究科担当へ問合せてください。
- ④コンビニ収納およびクレジット支払いを利用する場合は、検定料払込票は使用せず、収納証明書を取得して様式1の入学志願票に貼付してください。詳細は、「コンビニ・クレジット入学検定料支払方法」を参照し、納入してください。

(2) 提出書類

※以下の a,e,f,g,h の書類は日本語で記入・作成してください。

※提出書類は黒ボールペン（消せるボールペンは不可）で楷書にて記入してください。

	提出書類	様式
a	受験票送付用住所・受験票 ※受験票送付用住所（様式1-1）に記入された住所にお届けしますので、住所をご記入の際は建物名や部屋番号など記入漏れのないようご注意ください。	様式1
b	卒業（見込）証明書 1通（※注意①・②） 最終出身校の卒業（見込）証明書	
c	成績証明書 1通（※注意①・②） 最終出身校の成績証明書 ※編入学・学士入学している者は、編・学士入学前の在籍校の成績証明書・在籍期間証明書も併せて各1通提出すること。	
d	学士学位取得（見込）証明書 1通（※注意①・②）	
e	入学試験面接カード 所定の用紙に必要な事項をもれなく記入すること。 ※「指導を希望する専任教員名」は記入必須ですが、あくまで希望として記入するもので、合格、入学後の指導教員を決定するものではありません。正式な指導教員は入学後にあらためて希望を提出し、研究科教授会にて検討のうえ最終的に決定となります。	様式2

f	研究計画書 2,000字程度。ワープロ使用により別紙に印刷する場合は様式3-1を表紙として提出すること。(同様の書式を作成し提出することも可能)	様式 3-1
g	履歴書 必要事項を漏れなく記入すること。必ず捺印のこと。	様式4
h	論文(卒業論文を含む)の概要またはこれまでの研究・社会的活動の概要 2,000字～4,000字程度。日本語で作成すること。ワープロ使用により別紙に印刷する場合は様式5-1を表紙として提出すること。(同様の書式を作成し提出することも可能)	様式 5-1
i	住民票 または 在留資格・期間を証明するもの 1通 (外国人のみ) ・提出する「住民票」は在留資格および在留期間が明記されているもの(省略されていないもの)であり、さらに、 <u>マイナンバー(個人番号)</u> が記入されていないものをご提出ください。 ・提出すべき住民票やパスポート等の書類は以下のとおりです。 ①日本に住所登録がある場合 →「住民票」を提出してください(在留カードのコピーでは受理できません)。住民票に記載されている「在留期間満了の日」が入学試験日より後である必要があります。 ②日本に住所登録があるが、出願時に在留期間更新中の場合 →「いま現在提出できる最新の住民票」と「在留カードの表・裏面のコピー(在留資格・期間更新中であることが分かるもの)」を両方提出してください。 ③日本に住所登録があるが、一時的に日本国外にあり、出願期間内に住民票が取得できない場合 →「パスポートの写し(写真および旅券番号がわかるページ)」と「在留カードの表・裏面のコピー」の両方を提出してください。 ④日本に住所登録がない場合(短期滞在ビザでの入国等) →「パスポートの写し(写真および旅券番号がわかるページ)」を提出してください。	
j	日本語能力に関する証明書 1通(コピーでも可)(※注意②) 受験している場合のみ、両方、あるいはいずれか1つを提出してください。 ・独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の試験科目のうち、「日本語」の試験の成績通知書1通(入試日から起算して過去2年以内に受験したもののみ有効) ・財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」の1級またはN1合格の認定書1通	

※注意 ①外国の大学(大学院)を卒業(修了)した方は、卒業(修了)証明書、成績証明書、学位取得証明書などは、英語または日本語の証明書を提出してください。提出が困難な場合には、大使館などの公的な機関にて、自分で用意した英訳または日本語訳の証明書の翻訳が正しいことの公証書を発行してもらい、証明書原本と翻訳文と公証書を合わせて提出してください。

※証明書が日本語または英語で書かれている場合

証明書が原本であることをよく確認し、そのままご提出ください。

※証明書が日本語または英語ではない場合

証明書原本(日本語、英語以外)1通 + 翻訳(日本語もしくは英語のものを自分で用意)1通 + 大使館・公証処での公証 を全て揃えて提出してください。

②婚姻等により証明書(b、c、d、j)と異なる姓名になった者は、必ずこれを証明する書類(戸籍抄本)を提出してください。

③一旦提出した書類等は試験結果の合否に関わらず返還しません。

④中華人民共和国の教育機関出身の方は、別紙の注意事項を必ずお読みください。

(3) 出願方法

①出願期間内に、検定料を銀行振込、コンビニ収納、クレジット支払いのいずれかにより納入すること。

②提出書類を市販の封筒により、出願期間内に多摩事務部大学院課人間社会研究科担当まで郵送(書留速達)すること。

③出願は郵送のみとする。

(4) 研修生との併願について

福祉社会専攻<研修生入試>と同日に実施する福祉社会専攻の春季入試(2023年2月18日実施の<一般選抜><社会人自己推薦選抜><外国人留学生選抜>)のみ、研修生との併願を認めます。

出願時に入学志願票、入学試験面接カードの所定欄に併願についての選択をしてください。出願後の変更は一切認めません。なお、検定料は併願の場合でも35,000円です。併願を希望した受験生のみ、修士課程不合格の場合、研修生受験者として合否判定を行います。

なお、研修生として在留資格の更新については別紙<注意>を参照ください。

(5) 出願先

〒194-0298 東京都町田市相原町4-3-4-2
法政大学 多摩事務部大学院課人間社会研究科担当

5. 入試日程

(1) 秋季入試

①出願期間

2022年8月19日(金)～8月26日(金)(8月26日消印有効)

※受験票は試験日の1週間前頃に発送します。

②試験日程

9月25日(日)	10:00～11:30	11:30～12:30	12:30～14:30
	専門科目 (参照不可)	昼休	口述試験

※注意 a. 受験者は試験開始20分前までに必ず試験教室に入室してください。

b. 試験時間中の途中退席はできません。

③合格発表

2022年10月7日(金) 10:00

法政大学大学院ホームページ (<http://www.gouhi.com/hosei/gs/>)

(合格者には、合格者通知書および入学手続書類を郵送します。)

④入学手続期間

2022年11月25日(金)～12月2日(金)

(手続き方法の詳細については合格発表時に通知しますが、所定の学費等を納め、指定された書類を簡易書留で郵送してください。)

(2) 春季入試

①出願期間

2023年1月6日(金)～1月13日(金)(1月13日消印有効)

※受験票は試験日の1週間前頃に発送します。

②試験日程

2月18日(土)	10:00～11:30	11:30～12:30	12:30～14:30
	専門科目 (参照不可)	昼休	口述試験

※注意 a. 受験者は試験開始20分前までに必ず試験教室に入室してください。

b. 試験時間中の途中退席はできません。

③合格発表

2023年2月24日(金) 10:00

法政大学大学院ホームページ (<http://www.gouhi.com/hosei/gs/>)

(合格者には、合格者通知書および入学手続書類を郵送します。)

④入学手続期間

2023年2月25日(土)～3月2日(木)

(手続き方法の詳細については合格発表時に通知しますが、所定の学費等を納め、指定された書類を簡易書留で郵送してください。)

6. 試験会場

法政大学 多摩キャンパス 現代福祉学部棟(17号館)

(試験教室は受験票郵送時にお知らせします。)

7. 入学手続

(1) 入学手続に必要な書類

- a. 学費納入済票
- b. 住民票(発行後3ヶ月以内のもの) 1通
- c. 写真(3ヶ月以内に撮影したもの 3cm×3cm) 2枚
- d. 卒業証明書(卒業見込みで受験した者のみ) 1通
- e. 成績証明書(卒業見込みで受験した者のみ) 1通

※注意 2012年7月9日より導入された新しい在留管理制度に基づき、市区役所・町村役場にて「住民票」の発行を受けて提出してください。また、その際、必ず「在留資格・期間」が明記されているものを提出してください。

(2) 学費

入 学 金	200,000 円
授 業 料	570,000 円
教育充実費	80,000 円
合 計	850,000 円

※注意 ただし、入学手続時の納入金は入学金全額と、授業料・教育充実費のそれぞれ半額の合計額(525,000円)で、残りの授業料・教育充実費のそれぞれ半額の合計額(325,000円)は秋期に納入することになります。

上記の他、入学手続時に諸会費約3,000円が必要になります。

(2年次は上記のうち入学金以外の学費・諸会費が必要になります。)

(3) 長期履修制度(福祉社会専攻 修士課程)について

長期履修制度は、仕事などと両立しながら学業にじっくりと取り組みたい方に配慮した制度です。**福祉社会専攻(修士課程)に限り**、長期履修制度の選択が可能です。

通常の修業年限(標準修業年限)は場合2年間です。この制度を適用した場合、通常の修業年限に必要な授業料を「3年」または「4年」で分納することが可能となり、1年度あたりの学費負担を軽減させることができます。

■注意事項

- ※ 長期履修制度を適用するかどうかは**入学手続時**に申請してください。入学手続期間後の変更はできません。
- ※ 一度選択した年数をさらに延長することはできません。ただし入学後(在学中に)、当初の計画を早めて修了する(長期履修制度適用期間を短縮して修了する)ことは可能です。その場合は所定の手続を経て研究科の許可を得る必要があります。また、短縮が決定した場合は長期履修制度の学費が適用されなくなりますので、通常学費との差額(不足分)を納入いただく必要があります。
- ※ 長期履修制度適用者の在学年限は、通常の在学年限と同じく修士課程4年です。在学年限とは科目の履修や修士を提出することができる年限です。これとは別に通算3年の休学が可能となっています。

- ※ 長期履修制度適用者が履修するカリキュラムは通常の課程（修士2年）と同一です。授業の履修にあたっては、指導教員とよく相談したうえで履修登録をしてください。
- ※ 退学・除籍となった場合、復学・復籍後の長期履修制度の継続はできません。長期履修制度適用中に、学内外の奨学金や助成金に応募できるかどうかは、当該の奨学金や助成金ごとに応募条件が異なりますので、個々の募集要項で応募条件を確認してください

8. 注意事項

- (1) 一旦受領した検定料は返還いたしません。
- (2) 提出書類に不備があると、受験できなくなることがあります。十分注意してください。
- (3) 受験者が遅刻した場合、試験開始20分以後の受験はいかなる理由があっても認めません。
- (4) 受験会場では携帯電話等の時計としての使用は一切認めません。入室の際には、必ず電源を切ってください。
- (5) 受験当日は、付近の食堂が閉まっていることがあります。なるべく各自で昼食を用意してください。
- (6) 電話での可否の問い合わせには一切応じません。
- (7) 本学への入学手続を完了した後に（入学時納入金を全額納入した後に）、やむを得ない理由により入学の辞退を希望し、2023年3月16日（木）までに大学が定める手続きにより届け出を完了した者には、入学金を除く学費その他の納入金を返還します。入学手続等詳細は合格者に交付される「入学手続書類」を参照してください。
- (8) 入学後の修士論文の作成は原則として日本語で行うものとします。